

若葉区・緑区内においてイノシシの集中捕獲を実施します ～イノシシの出没前線地域にわなを増設し、生息域の拡大防止を図ります～

千葉市では、これまで主に緑区内でイノシシが出没し、年々捕獲を強化してきましたが、若葉区内で捕獲される事例が増えつつあります。

こうした状況を踏まえ、これ以上の農作物被害や市街地への出没を防ぐため、若葉区・緑区内においてイノシシの集中捕獲を実施しますので、お知らせします。

1 経緯

本市の令和5年度の有害鳥獣による農作物被害額は12,384千円で、そのうちイノシシによる被害額は5,510千円と約45%を占めています。

令和6年度以降も被害が続いており、市街地への出没も増えているため、さらなる捕獲強化に取り組む必要があると考え、専門知識を有する農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーの協力の下、現地調査を実施しました。この結果に基づき、関係機関が連携してイノシシの集中捕獲を行うこととしました。

2 概要

(1) 実施主体等

ア 実施主体

(ア) 千葉市鳥獣被害防止対策協議会

【構成】JA千葉みらい、千葉市猟友会、千葉市（農業経営支援課）等

(イ) 環境保全課自然保護対策室

イ 協力先

合同会社AMAC（エーマック）

(2) 実施期間・規模等

9月16日（月・祝）～12月14日（土）の90日間

箱わな・くくりわな計250基程度を使用

※緑区を中心に以前から設置している約180基に加え、約70基を若葉区の以下の地域を中心に増設します。

【増設する地域】若葉区富田町、小間子町、上泉町、下泉町、下田町、金親町、大井戸町、多部田町、佐和町

(3) その他

千葉市猟友会員にわなの見回りや捕獲を依頼します。わなの周辺には、注意看板を設置します。捕獲されたイノシシは暴れて危険ですので、わなには近づかないでください。

3 今後の方向性

本取り組みの成果によって、期間の延長や次年度以降の実施も検討しています。

<参考>

○箱わな

箱型の檻の内側に餌を置いてイノシシをおびき寄せ、檻の中に入ったイノシシが蹴り糸に触れると、入口の扉が閉まる仕組みのわなです。



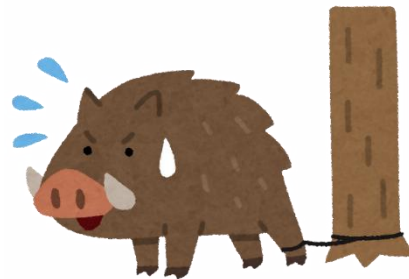
イノシシ用箱わな

○くくりわな

ワイヤーで作った輪によって、イノシシを捕らえるわなです。イノシシの通り道の地中にわなを埋めて設置します。イノシシが輪の中を踏むとワイヤーが締め、足をくくりまわります。



イノシシ用くくりわな



くくりわなで捕らえたイノシシ(イメージ)

問い合わせ先

【集中捕獲事業全般および有害鳥獣による農作物被害に関すること】

経済農政局農政部農政センター農業経営支援課 電話 2 2 8 - 6 2 6 7

【有害鳥獣による生活被害に関すること】

環境局環境保全部環境保全課 電話 2 4 5 - 5 1 8 2